

# 東京言語研究所

## 2015年度第1回公開講座

東京言語研究所では、広い視野からことばを考えることを目的として、年3回公開講座を開催しています。毎回、ことばとかかわりを持つさまざまな分野の第一線で活躍する方々を講師としてお迎えします。

今回は、下記の要領で2015年度第1回公開講座を開催いたします。奮ってご参加ください。

〈演題〉日本語教育のための日本語文法

〈講師〉野田<sup>の だ ひ さ し</sup>尚史氏（国立国語研究所 教授）

〈日時〉2015年6月27日(土) 14:00～17:00

〈会場〉東京言語研究所（新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル13階）

〈参加費〉一般 1,500円 学生 1,000円(当日学生証提示)

(\*2015年度理論言語学講座受講生は500円)

※ 参加費は当日現金でお支払いください。

〈申込み〉ホームページ申込みフォームもしくはFAXで下記へご連絡下さい。定数:60名

- ① 公開講座受講希望
- ② 氏名
- ③ フリガナ
- ④ 性別
- ⑤ 住所
- ⑥ 電話番号
- ⑦ Eメールアドレス
- ⑧ 区分（2015年度理論言語学講座受講生・一般・学生）
- ⑨ 所属（大学生・大学院生・教員・会社員・その他）

(上記情報は東京言語研究所事業以外には一切使用いたしません。)

〈講師紹介〉

国立国語研究所教授。

大阪外国語大学助手、筑波大学講師、大阪府立大学助教授・教授を経て、2012年から現職。

専門は、文法を中心とした日本語学・日本語教育学。

主な著書は、『日本語教育のためのコミュニケーション研究』(編著, くろしお出版, 2012), 『コミュニケーションのための日本語教育文法』(編著, くろしお出版, 2005), 『日本語の文法 4 複文と談話』(共著, 岩波書店, 2002), 『日本語学習者の文法習得』(共著, 大修館書店, 2001), 『「は」と「が」』(くろしお出版, 1996)など。

問合せ先 公益財団法人 ラボ国際交流センター 東京言語研究所

〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル16階

TEL:03-5324-3420

FAX:03-5324-3427 ホームページ:<http://www.tokyo-gengo.gr.jp/>

## 【講義要旨】

この公開講座では、日本語を母語としない日本語学習者が日本語で表現したり日本語を理解したりするときに不適切な表現を使ったり不適切な理解をしている事例を観察しながら、そのような不適切な表現や理解を防ぐためにはどのような文法が必要なのかを、受講者の皆さんと一っしょに検討します。

講座の前半では、デスマス形と非デスマス形の選択が不適切な事例を観察し、その背後にある学習者独自の文法を明らかにし、そのような不適切な選択を防ぐための日本語文法を考えます。

(1)を例にすると、「いいのか」と言うべきところを学習者はなぜ「いいんですか」と言うのか、それを防ぐためにはどのような説明をすればよいかということです。

- (1) これから中国の発展していく中で、教育をどうやっていけばいいんですか、んー、そのためには私はいろいろな手段で、あの一、中国の教育界、の情報を集めてるんですけども、  
…… (KYコーパス：中国語話者、上級一上)

講座の後半では、主語の特定のしかたが不適切な事例を観察し、その背後にある学習者独自の文法を明らかにし、そのような不適切な主語の特定のしかたを防ぐための日本語文法を考えます。(2)を例にすると、「見向きもせず、時間規制でやっています」の主語は「フランスやドイツ」ですが、学習者はなぜ主語を「米国」だと考えるのか、それを防ぐためにはどのような説明をすればよいかということです。

- (2) テレビ番組でも、フランスは夜9時以降、ドイツでは夜12時以降、性描写OKです。米国がやっきになって導入しようとしている、事前に番組を判定して格付けし機械的に見られないようにするVチップ規制などに見向きもせず、時間規制でやっています。

(宮台真司『日本の難点』幻冬舎新書)



『ことばの宇宙への旅立ち—10代からの言語学』大津由紀雄編 好評発売中

第一線で活躍する言語学者自身の研究の紹介や言語学を志すきっかけなどのエピソードが盛り込まれています。発行：東京言語研究所／発売：ひつじ書房